

令和7年度おひさまハウス地域連携推進会議議事録

事業所名	おひさまハウス		
開催日時	令和7年9月17日(水)13:30~15:05		
開催場所	おひさまハウス一号館		
出席者	構成員	人数	備考
	利用者	1	NPO法人代表 市内施設入所支援事業所サービス管理責任者 市内施設入所支援事業所管理者 市福祉課職員
	利用者ご家族	1	
	地域の関係者	1	
	福祉に知見を有する方	1	
	経営に知見を有する方	1	
	市町村担当職員	1	
	事務局	人数	備考
事業所職員	2	管理者、サービス管理責任者	
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 管理者あいさつ 2 構成員・事務局の紹介 3 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 地域連携推進会議について (2) 事業内容について (3) 利用者の日常生活の様子について (4) 利用者の権利擁護について (5) 経営状況について (6) 今後の課題について (7) 施設見学 (8) 意見交換 		
協議内容・意見等	<ol style="list-style-type: none"> 1 管理者あいさつ <p>本日は、お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。本日開催させていただく「地域連携推進会議」ですが、昨年度までは事業所の努力義務でしたが、今年度からは義務化となり、今後、年1回以上の開催が必要となります。今回は初めての試みとなりますが、委員をお引き受けいただいた皆さまに「おひさまハウス」の今を知っていただきたく、資料を準備させていただきました。よろしくお願いいたします。</p> 2 構成員・事務局の紹介（別紙1） 3 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 地域連携推進会議について <ul style="list-style-type: none"> ・管理者から説明（別紙2） (2) 事業内容について <ul style="list-style-type: none"> ・管理者から説明（別紙3） (3) 利用者の日常生活の様子について <ul style="list-style-type: none"> ・サービス管理責任者から説明（別紙4） (4) 利用者の権利擁護について <ul style="list-style-type: none"> ・サービス管理責任者から説明（別紙5） 		

協議内容
・意見等

(5) 経営状況について

- ・管理者から説明（別紙6）

(6) 今後の課題について

- ・管理者から説明（別紙7）

(7) 施設見学について

構成員からの感想

- ・間取りも良く生活しやすそう。
- ・お風呂場が広く、介護もしやすく、ゆっくり入浴できそう。
- ・高台に建てられていて、景色がいいですね。
- ・お部屋が広くていいですね。
- ・クローゼットが広くて、しっかり収納できそう。
- ・日当たりが良くていいですね。
- ・このグループホームなら、ご家族も安心できますね。

(8) 意見交換

質問1（事務局）

おひさまハウスを利用されるようになってから、お子さんに変化はありましたか。

回答1：（利用者ご家族）

会話する機会が少なくなったと感じます。自分のことは家に帰ってからも極力やるようになり、母親が手を出す事がなくなりました。大人になったなと感じますが親としては寂しいと感じます。

質問2：（地域の関係者）

利用者の皆さんに意見を伺うような場面はありますか。また利用者の自治組織みたいなものがあると良いと思いますか。

回答2：（事務局）

利用者の皆さんには、意見をお伺いする場面はあります。特に行事前に意見をお伺いする時が多いです。どこに行きたいかとか何が食べたいかと皆さんに希望をお伺いしています。自治会組織は今はありませんが、今後は必要かと思っています。

質問3（地域の関係者）

食材高騰の中、食費の設定はどのようにしているのか。また、食費は食べた分だけの支払いとなりますか。

回答3（事務局）

はい、食費の設定は朝230円、昼350円、夜420円となっています。食べた分を翌月に請求となります。

質問4（利用者ご家族）

電気代、食材費の高騰で赤字となっているとお伺いしましたが、保護者として申し訳ないので、値上げしても良いかと思いますが、どうでしょう。

回答4（事務局）

はい、利用者さんの中には障害年金のみで生活している方も何名かおみえになるので、赤字だから簡単に値上げすることが出来ませんが、今年度の支出の状況を見ながら、来年度の4月に値上げを考えています。障害年金の額がもう少し上がると良いのですが。

質問5（福祉に知見を有する方）

利用者の毎月の負担はいくらぐらいになりますか。

回答5（事務局）

はい、月に5万円～5.5万円ぐらいの支払いとなります。

質問6（市福祉課職員）

土曜日のサービス提供を開始した経緯は何か。また土曜日の日中はどのように過ごされていますか。

回答6（事務局）

経緯としては、ある保護者さんから自動車免許を返納し、送迎ができなくなるため週末におひさまハウスを利用することができないかとの相談があったことです。また、ご家庭より、週末、自宅での対応が大変になってきたとのご意見があり各ご家庭に聞き取りを行ったところ、希望が多く、土曜日のサービス提供を開始することとなりました。土曜日の利用は希望者のみで10名全員ではありません。土曜日の朝に帰宅される方もみえます。土曜日の日中の過ごし方ですが、移動支援を利用して外出される方、自室でゆっくりされる方、一人で散歩に出かける方と様々です。

質問7（市福祉課職員）

生活の場に体験利用の方が入られると、入居者の方で落ち着かなくなってしまう方はみえますか。

回答7（事務局）

入居者の皆さんは、慣れていて体験利用の方が入られても、特に落ち着かないという方はみえません。逆に歓迎ムードです。

協議内容
・意見等

